

企業訪問 循環型最前線レポート

(株) エイゼン

耕作放棄地を活用し 飼料作物の栽培で 食物循環に挑む

(株) エイゼン



株式会社 エイゼン

■代表者/永田 吉裕

■所在地/知多郡武豊町字向陽 3-1

TEL0569-72-3764 FAX0569-72-3762

■事業内容/産業廃棄物収集運搬業、特別管理産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物中間処理業、一般廃棄物収集運搬業

「あいちゼロエミッション・コミュニティ構想具体化推進」業務で循環ビジネスを創出

あいちゼロエミッション・コミュニティとは、未利用資源とエネルギーの地域内循環を進め、新しいビジネスを創出・展開していくことにより、快適で安心な地域を創ることをいいます。

具体的には、リサイクル技術とエネルギー技術の融合によって、廃棄物やバイオマス資源、自然エネルギーなど未利用資源・エネルギーの地域内循環を進め、地域特性を活かした新しいビジネスを、産・学・行政と県民のコラボレーション（協働）により創出します。これが県域全体へと広がり、あいちゼロエミッション・コミュニティ構想が展開していくというものです。



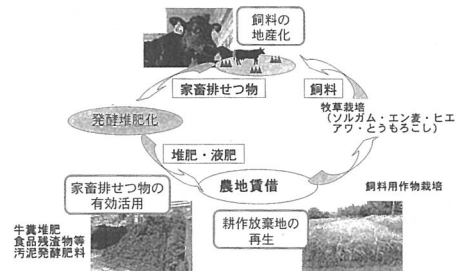
創出ビジネスに意欲をもやす専務の永田氏

株式会社エイゼンでは、現会長が元々農業から現在の事業を起こし、今も農業を営んでいるというところから、農業のノウハウも持っているため、コンサルからのアドバイスを受け地域循環に貢献でき

平成22年度ふるさと雇用再生特別交付金事業
「あいちゼロエミッション・コミュニティ構想具体化推進」業務

事業管理部署 愛知県環境部資源循環推進課 循環グループ

事業施工者 株式会社 エイゼン
(0569) 7 2 - 3 7 6 4



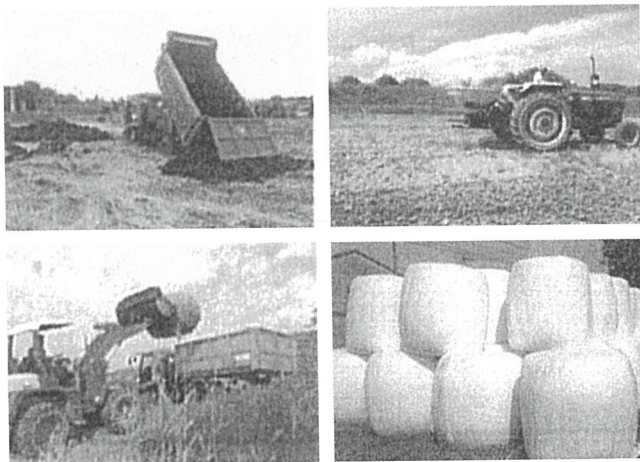
る、この事業展開への取り組みを始めました。

酪農家からの牛糞堆肥や食品残渣物などからつく
る汚泥発酵肥料を使用し、それを耕作放棄地を利用
して家畜の飼料となる牧草を栽培する。そこで栽培
された牧草を、もう一度酪農家に販売するという循環
システムを作っています。

「循環システムが構築されることにより、雇用の
創出、家畜排泄物の有効利用、耕作放棄地の再生が
可能になります。また、これまで輸入に頼っていた
ため価格が不安定だった牧草飼料の価格も安定した
り、CO₂も輸入の運搬などで排出される量に比べ、
地域で栽培する方が削減されるという試算ができる
ので、地域貢献につながると思います」と専務取締
役の永田幹人氏は話しています。



放棄地が緑の牧草地に



平成22年度のふるさと雇用再生特別交付金事業
として行っていますが、その後もアグリ事業として
取り組んでいきたいということです。

永田氏は「1年間取り組んでみて、まだまだ採算
面では自立できる事業とはいえませんが、机上の計
算通りにいけば、そう遠くない将来に採算は上がっ
てくると思います。現在は、この1年の経験を見直
し、酪農家の方にヒアリングを行うなどして需要の
高い牧草のリサーチをしたり、シス
テムを見直しをし
て、2年目の挑戦
を始めるところで
す。何といても
この事業は、収穫



量を確保することが継続につながる一番大切な部分
です。そのためには土地が必要です。現在は2市2
町の耕作放棄地を利用していますが、これからも行
政と協力しあい、地主さんの理解をいただき、土地
の確保に取り組んでいきたいと思っています。これ
には、まじめに事業に取り組む姿勢を見ていただく
ことが何よりも大切だと思っています。そして、こ
のシステムにより喜んでいただける方が一人でも多
くなるようにがんばっていきたいと思います」と力
強く話していました。



現地説明会にも沢山の人が参加